

1. 人口等の基礎的環境

1) 那智勝浦町の概況

◎位置と地形

那智勝浦町は、和歌山県の東南部に位置し、東は黒潮洗う熊野灘を臨み、北は新宮市、西は串本町や古座川町に接しています。また太地町にも接しています。町面積は、183.45km²であり、山地と丘陵地を合わせた面積が総面積の約90%を占めています。

紀伊山地の南端にあたる那智連峰（烏帽子山・大雲取山・光ヶ峯等）が町の北部に連なり、これを源に那智川、太田川の両河川が南東に流れ熊野灘に注いでいます。本町の平地のほとんどはこれらの両河川流域と海岸地域に形成されており、土地の都市的利用及び農業的利用の舞台となっています。海岸線はリアス式で、勝浦港など天然の良港を有し、また名勝「紀の松島」など見事な景観を展開しています。

温暖多雨な本町は、風光明媚な景観と山の緑、海の青に恵まれるとともに、世界遺産に登録された熊野那智大社・那智山青岸渡寺・大門坂に代表される熊野参詣道（熊野古道）など、古くから歴史・文化的観光地として名高く多くの観光客が訪れています。また、町内には勝浦温泉、湯川温泉等の温泉も湧出しています。

位 置		広 ぼ う	
東 経	北 緯	東 西	南 北
135° 56'	33° 37'	19.8km	19.2km

◎交通

交通網は、海岸部を JR 紀勢本線と国道 42 号が並走し、京阪神あるいは中京地域などと結ばれています。現在、近畿自動車道紀勢線の建設が進み、2 時間余りで高速道路が利用出来るようになり、京阪神や中京地域とは 4 時間程度で結ばれています。また、那智勝浦新宮道路が平成 19 年度に開通し、国道 42 号のバイパスとなっています。

◎沿革

那智勝浦町の歴史をみると、那智の滝を神とする自然崇拜により『那智山』は、日本の代表的な聖地として歴史的に良く知られ、熊野三山のひとつとして、修験道や観音信仰と結び付いて発展し、「蟻の熊野詣」といわれるほど熊野参詣道（熊野古道）は賑わいました。

中世において、この地域は那智の荘 12 カ村として、那智山の社領となり那智山三坊と呼ばれる先達組織の支配に属していました。江戸時代には現在の本町域に 38 カ村があり、旧色川村の一部は和歌山藩に属し、他は和歌山藩新宮領に属していました。

明治 4 年（1871 年）の廃藩置県で和歌山県の所管となり、明治 22 年（1889 年）の市町村制の施行により本町域には、勝浦村・那智村・宇久井村・色川村・上太田村・下太田村・下里村の 7 カ村が生まれ、その後、勝浦村・下里村・那智村は町に昇格、上太田村と下太田村の合併がありました。そして昭和 30 年（1955 年）に勝浦町・那智町・宇久井村・色川村が合併して那智勝浦町が誕生しました。その後、昭和 35 年（1960 年）に太田村と下里町を編入して今日に至っています。

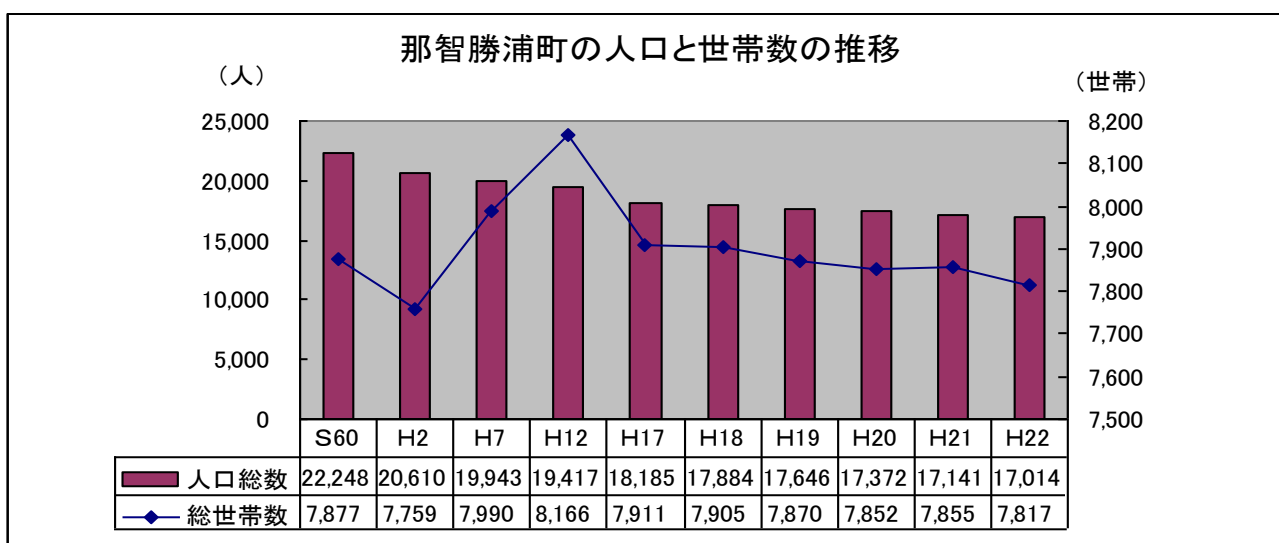
2) 人口構造

(1) 人口・世帯数動向

和歌山県推計人口によると、那智勝浦町の平成 22 年 4 月 1 日現在の人口は 17,014 で、和歌山県総人口 1,001,515 人の 1.7% となっています。昭和 60 年以降の経年変化を見ると、減少傾向で推移しています。

同様に、那智勝浦町の平成 22 年 4 月 1 日現在の世帯数は、7,817 世帯となっています。経年変化では、平成 2 年から平成 12 年まで増加で推移しますが、平成 17 年以降は緩やかな減少傾向を見ることができます。

関連して、平成 7 年以降の周辺市町村の人口推移を見ると、全体的に減少傾向にあります。隣接した新宮市や太地町においても、那智勝浦町と同様に、経年での人口減少の傾向が見られます。



昭和 60 年～平成 17 年：国勢調査、平成 18 年～平成 22 年：和歌山県推計人口
(平成 22 年は 4 月 1 日現在、他は 10 月 1 日現在)

那智勝浦町の人口推移

	世 帯 数		人 口				1 世帯当 り人口
	実 数	対前回 比	実 数	対前回 比	男性	女性	
昭和 60 年	7,877	—	22,248	—	10,433	11,815	2.82
平成 2 年	7,759	▲1.5	20,610	▲7.4	9,588	11,052	2.66
平成 7 年	7,990	3.0	19,943	▲3.2	9,180	10,763	2.50
平成 12 年	8,166	2.2	19,417	▲2.6	8,966	10,451	2.38
平成 17 年	7,911	▲3.1	18,185	▲6.3	8,354	9,831	2.30
平成 18 年	7,905	▲0.1	17,884	▲1.7	8,194	9,690	2.26
平成 19 年	7,870	▲0.4	17,646	▲1.3	8,063	9,583	2.24
平成 20 年	7,852	▲0.2	17,372	▲1.6	7,906	9,466	2.21
平成 21 年	7,855	0.0	17,141	▲1.3	7,767	9,374	2.18
平成 22 年	7,817	▲0.5	17,014	▲0.7	7,736	9,278	2.18

昭和 60 年～平成 17 年：国勢調査、平成 18 年～平成 22 年：和歌山県推計人口
(平成 22 年は 4 月 1 日現在、他は 10 月 1 日現在)

周辺市町村の人口推移

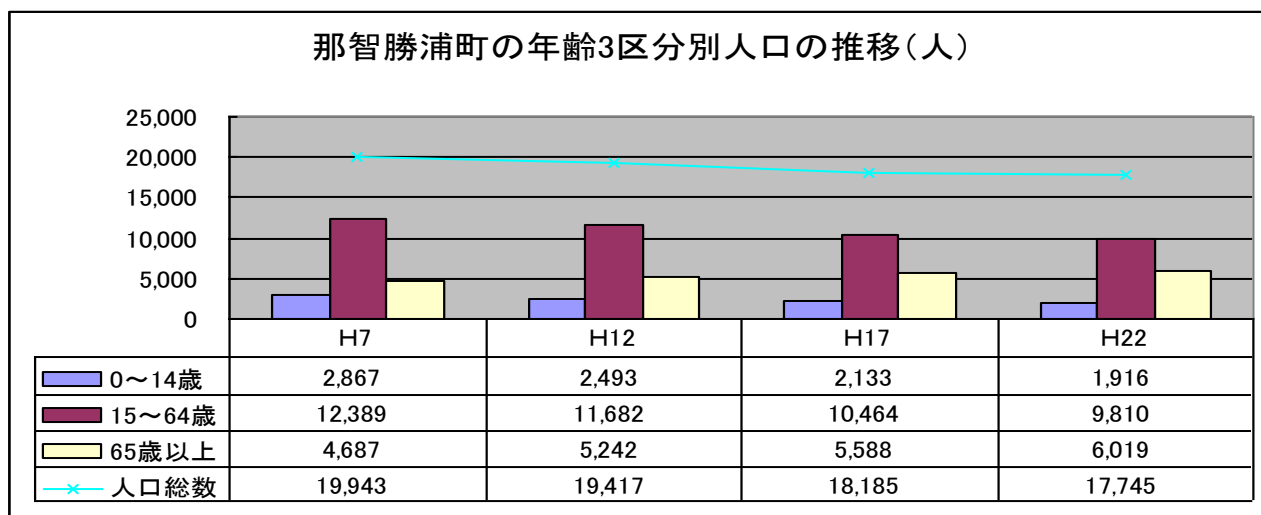
		H7年	H12年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年
実数	那智勝浦町	19,943	19,417	18,185	17,884	17,646	17,372	17,141	17,014
	太地町	3,907	3,777	3,506	3,464	3,431	3,375	3,301	3,270
	新宮市	36,278	35,176	33,790	33,397	32,759	32,267	31,889	31,730
	古座川町	3,884	3,726	3,426	3,359	3,294	3,224	3,164	3,128
	北山村	593	635	570	546	538	538	523	523
	串本町	22,521	21,429	19,931	19,568	19,176	18,780	18,503	18,284
	新宮医療圏	87,126	84,160	79,408	78,218	76,844	75,556	74,521	73,949
対前 回 比	那智勝浦町	—	▲2.6	▲6.3	▲1.7	▲1.3	▲1.6	▲1.3	▲0.7
	太地町	—	▲3.3	▲7.2	▲1.2	▲1.0	▲1.6	▲2.2	▲0.9
	新宮市	—	▲3.0	▲3.9	▲1.2	▲1.9	▲1.5	▲1.2	▲0.5
	古座川町	—	▲4.1	▲8.1	▲2.0	▲1.8	▲2.1	▲1.9	▲1.1
	北山村	—	7.1	▲10.2	▲4.2	▲1.5	0.0	▲2.8	0.0
	串本町	—	▲4.8	▲7.0	▲1.8	▲2.0	▲2.1	▲1.5	▲1.2
	新宮医療圏	—	▲3.4	▲5.6	▲1.5	▲1.8	▲1.7	▲1.4	▲0.8

昭和 60 年～平成 17 年：国勢調査、平成 18 年～平成 22 年：和歌山県推計人口
(平成 22 年は 4 月 1 日現在、他は 10 月 1 日現在)

(2) 年齢構成

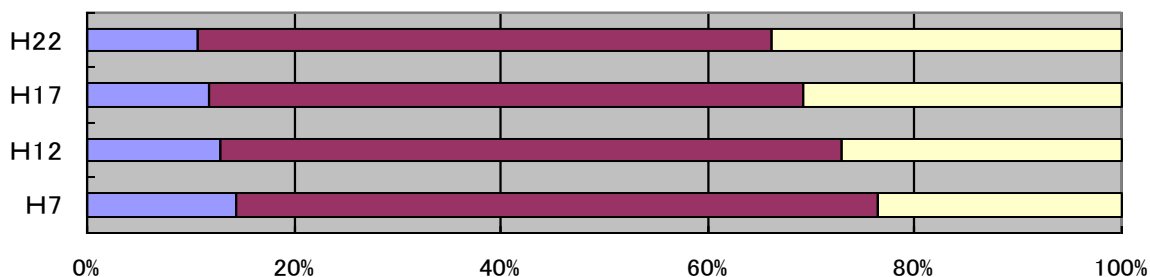
平成 22 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口から那智勝浦町の年齢 3 区分別人口を見ると、年少人口（0～14 歳）が 1,916 人、生産年齢人口（15～64 歳）が 9,810 人、老年人口（65 歳以上）が 6,019 人となっています。構成割合では、年少人口（0～14 歳）が 10.8%、生産年齢人口（15～64 歳）が 55.3%、老年人口（65 歳以上）が 33.9%となっています。和歌山県全体では年少人口（0～14 歳）が 12.9%、生産年齢人口（15～64 歳）が 60.8%、老年人口（65 歳以上）が 26.4%となっており、比較してみると那智勝浦町は老年人口（65 歳以上）比率が 7.5 ポイント上回り、高齢化率が高い状況になっています。

経年変化では、人口の実数と構成割合共に年少人口（0～14 歳）の減少と老年人口（65 歳以上）の増加が見られ、少子高齢化が進行している状況となっています。このような状況は周辺の市町村でも同様に見られます。



※総数には年齢不詳を含む
平成 7 年～平成 17 年：国勢調査、平成 22 年：住民基本台帳人口（4 月 1 日現在）

那智勝浦町の年齢3区分別人口構成割合の推移(%)



	H7	H12	H17	H22
□ 65歳以上	23.5	27.0	30.7	33.9
■ 15～64歳	62.1	60.2	57.5	55.3
■ 0～14歳	14.4	12.8	11.7	10.8

※総数には年齢不詳を含む

平成7年～平成17年：国勢調査、平成22年：住民基本台帳人口（4月1日現在）

周辺市町村の年齢別人口の推移

		実数				割合			
		総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成7年	那智勝浦町	19,943	2,867	12,389	4,687	100.0	14.4	62.1	23.5
	太地町	3,907	544	2,363	1,000	100.0	13.9	60.5	25.6
	新宮市	36,278	5,643	22,741	7,889	100.0	15.6	62.7	21.7
	古座川町	3,884	408	2,036	1,440	100.0	10.5	52.4	37.1
	北山村	593	54	325	214	100.0	9.1	54.8	36.1
	串本町	22,521	3,223	13,338	5,960	100.0	14.3	59.2	26.5
	新宮医療圏	87,126	12,748	53,192	21,190	100.0	14.6	61.1	24.3
平成12年	那智勝浦町	19,417	2,493	11,682	5,242	100.0	12.8	60.2	27.0
	太地町	3,777	506	2,103	1,168	100.0	13.4	55.7	30.9
	新宮市	35,176	5,057	21,355	8,764	100.0	14.4	60.7	24.9
	古座川町	3,726	337	1,801	1,588	100.0	9.0	48.3	42.6
	北山村	635	65	310	260	100.0	10.2	48.8	40.9
	串本町	21,429	2,606	12,243	6,580	100.0	12.2	57.1	30.7
	新宮医療圏	84,160	11,064	49,494	23,602	100.0	13.1	58.8	28.0
平成17年	那智勝浦町	18,185	2,133	10,464	5,588	100.0	11.7	57.5	30.7
	太地町	3,506	417	1,864	1,225	100.0	11.9	53.2	34.9
	新宮市	33,790	4,513	19,676	9,375	100.0	13.4	58.2	27.7
	古座川町	3,426	309	1,586	1,531	100.0	9.0	46.3	44.7
	北山村	570	59	267	244	100.0	10.4	46.8	42.8
	串本町	19,931	2,113	11,077	6,718	100.0	10.7	55.6	33.7
	新宮医療圏	79,408	9,544	44,934	24,681	100.0	12.0	56.6	31.1
平成22年	那智勝浦町	17,745	1,916	9,810	6,019	100.0	10.8	55.3	33.9
	太地町	3,491	343	1,846	1,302	100.0	9.8	52.9	37.3
	新宮市	32,380	3,995	18,498	9,887	100.0	12.3	57.1	30.5
	古座川町	3,298	280	1,491	1,527	100.0	8.5	45.2	46.3
	北山村	504	36	226	242	100.0	7.1	44.8	48.0
	串本町	19,130	1,870	10,308	6,952	100.0	9.8	53.9	36.3
	新宮医療圏	76,548	8,440	42,179	25,929	100.0	11.0	55.1	33.9

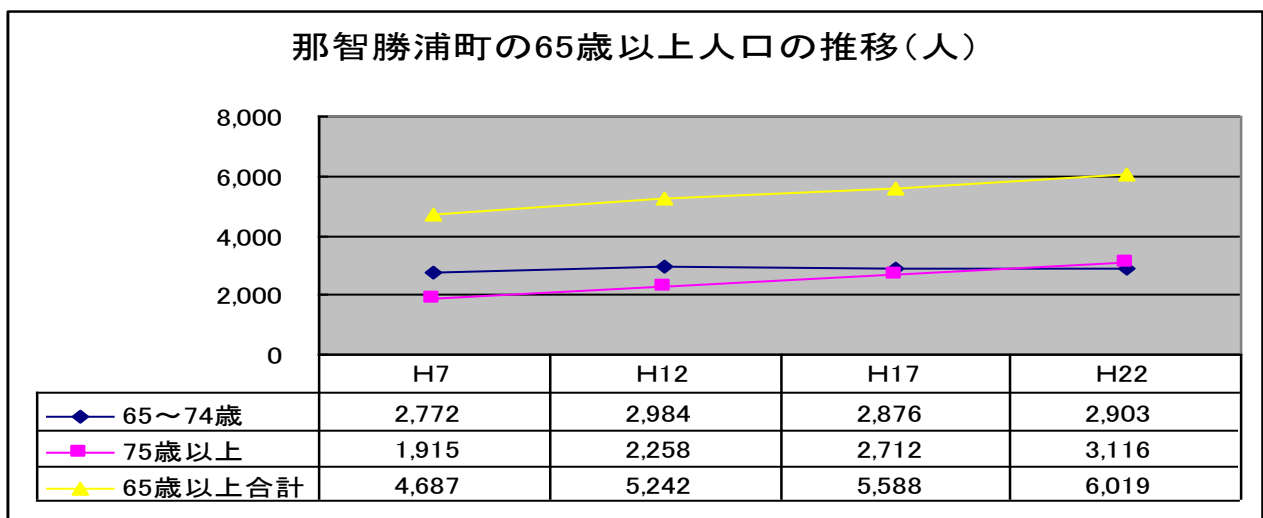
※総数には年齢不詳を含む

平成7年～平成17年：国勢調査、平成22年：住民基本台帳人口（4月1日現在）

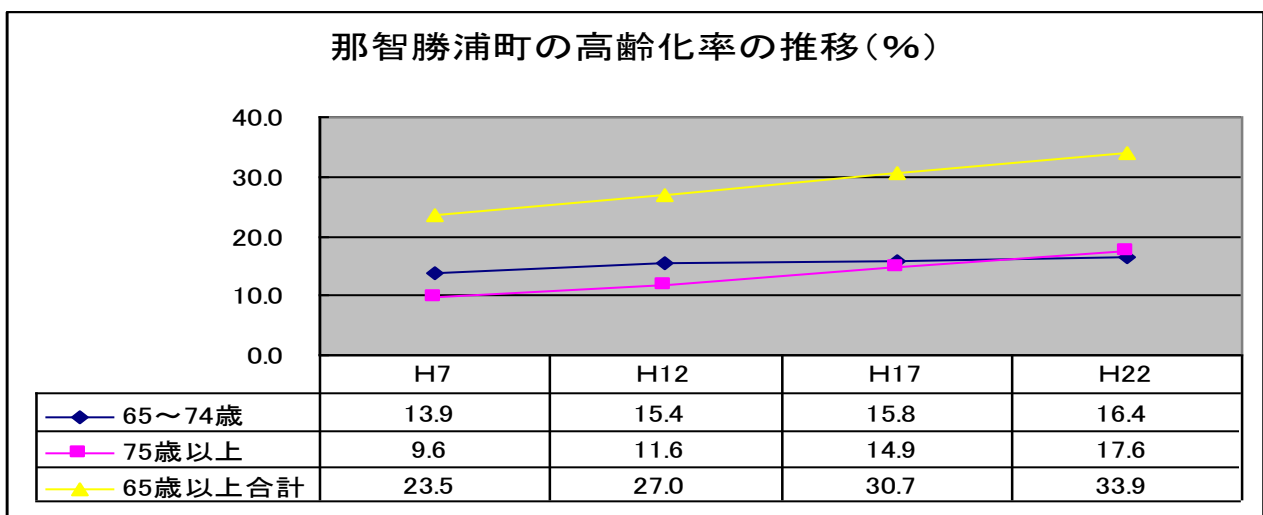
(3) 高齢者の状況

那智勝浦町の65歳以上の人口は、平成22年4月1日現在の住民基本台帳人口によると、6,019人となっています。その比率（高齢化率）は33.9%で、和歌山県全体の26.4%を上回っています。実数の経年変化を見てみると、65～74歳の人口は年毎に増減が見られる一方、75歳以上の人口は年毎に増加で推移しています。平成22年には65～74歳の人口が2,903人、75歳以上の人口が3,116人となり、75歳以上の人口が65～74歳以上の人口を上回る状況になっています。

高齢化率も実数に合わせて増加傾向にあり、平成7年から平成12年は3.5ポイント、平成12年から平成17年は3.7ポイント、平成17年から平成22年は3.2ポイント、それぞれ増加が見られます。65～74歳に比べて75歳以上の高齢化率の増加が目立ち、実数と同様に、平成22年には75歳以上の高齢化率が65～74歳の高齢化率を上回っています。



平成7年～平成17年：国勢調査、平成22年：住民基本台帳人口（4月1日現在）



平成7年～平成17年：国勢調査、平成22年：住民基本台帳人口（4月1日現在）

(4) 那智勝浦町の地区別人口の推移

那智勝浦町の地区別人口は、平成 22 年 4 月 1 日の住民基本台帳人口によると、一番多い地区是那智地区で 8,133 人となっていて、町の人口の 45.8%を占めています。次いで、宇久井地区 2,862 人（16.1%）、下里地区 2,802 人（15.8%）の順になっています。

地区別の世帯数も同様に那智地区が最も多く、3,936 世帯となっています。次いで、下里地区 1,277 世帯、宇久井地区 1,255 世帯と続いています。

地区別人口の経年変化では、年毎に増加している宇久井地区を除いて、減少で推移しています。また、1 世帯当りの人員数の推移を見てみると、いずれの地区も減少傾向となっています。

那智勝浦町の地区別人口の推移

		宇久井	那智	勝浦	色川	太田	下里	合計
人口 (男)	H12年	1,250	4,256	1,197	231	681	1,351	8,966
	H17年	1,279	3,858	1,063	213	622	1,319	8,354
	H22年	1,336	3,784	998	208	615	1,310	8,251
人口 (女)	H12年	1,440	4,915	1,476	259	782	1,579	10,451
	H17年	1,533	4,547	1,304	221	706	1,520	9,831
	H22年	1,526	4,349	1,223	219	685	1,492	9,494
人口計	H12年	2,690	9,171	2,673	490	1,463	2,930	19,417
	H17年	2,812	8,405	2,367	434	1,328	2,839	18,185
	H22年	2,862	8,133	2,221	427	1,300	2,802	17,745
世帯数	H12年	1,048	3,788	1,254	230	620	1,216	8,166
	H17年	1,114	3,644	1,122	225	593	1,213	7,911
	H22年	1,255	3,936	1,135	226	633	1,277	8,462
1世帯当 り人員	H12年	2.57	2.42	2.11	2.13	2.36	2.41	2.38
	H17年	2.52	2.31	2.11	1.93	2.24	2.30	2.30
	H22年	2.28	2.07	1.96	1.89	2.05	2.19	2.10

平成 12 年・平成 17 年：国勢調査、平成 22 年：住民基本台帳人口（4 月 1 日現在）

(5) 那智勝浦町の将来推計人口

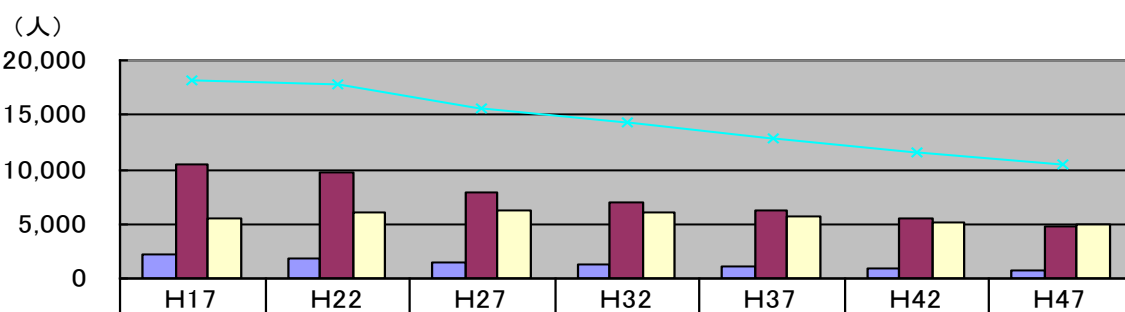
国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）」によると、平成 17 年の国勢調査で 18,185 人だった総人口は、平成 47 年には 10,450 人まで減少しています。年齢階層別の構成割合の推移を見てみると、年少人口（0～14 歳）割合の減少と老年人口（65 歳以上）割合の増加が目立ち、少子高齢化の進行を読み取ることができます。老年人口（65 歳以上）割合は平成 47 年に 46.6%に達し、生産年齢人口（15～64 歳）割合 45.6%を上回ると推計されています。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の都道府県別将来推計人口（平成 19 年 5 月推計）」での和歌山県の平成 47 年の年少人口（0～14 歳）割合 9.4%、生産年齢人口（15～64 歳）割合 52.0%、老年人口（65 歳以上）割合 38.6%と比較してみると、那智勝浦町は老年人口（65 歳以上）割合がかなり高いことを認識できます。

那智勝浦町の 65 歳以上人口の将来推計を見てみると、平成 27 年までは増加すると推計されています。平成 27 年の 6,157 人をピークに減少し、平成 47 年には 4,873 人となっています。平成 22 年以降は、75 歳以上人口の実数が 65～74 歳人口の実数を上回って推移し、平成 42 年には 75 歳以上人口が 65 歳以上人口の 66.6%を占めるようになります。

高齢化率では、75 歳以上人口割合の増加が目立ち、平成 47 年には総人口の 30.5%を 75 歳以上人口が占めると推計されています。

那智勝浦町の将来推計人口の推移

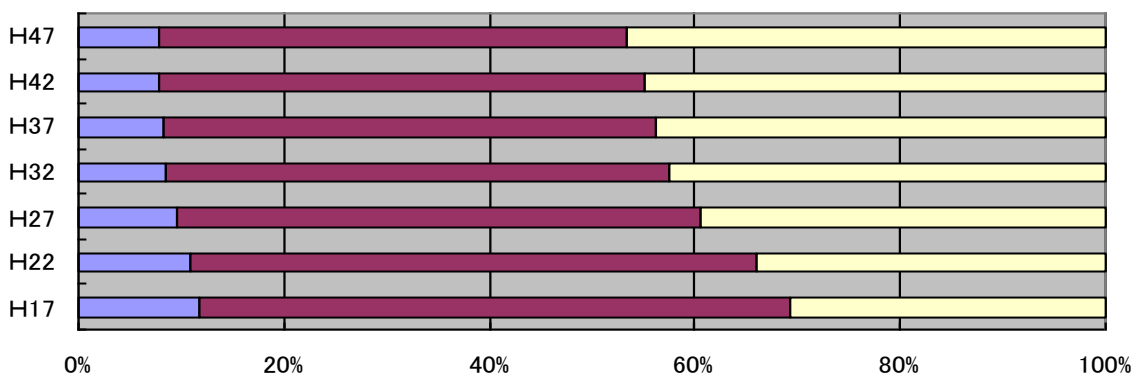


	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
0～14歳	2,133	1,916	1,477	1,224	1,054	925	811
15～64歳	10,464	9,810	7,942	6,968	6,211	5,498	4,766
65歳以上	5,588	6,019	6,157	6,042	5,651	5,223	4,873
人口総数	18,185	17,745	15,578	14,233	12,914	11,646	10,450

四捨五入の関係で総数に合わないことがある

平成 17 年：国勢調査、平成 22 年：住民基本台帳人口（4 月 1 日現在）、
平成 27 年以降：日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）

那智勝浦町の将来推計人口の構成割合の推移

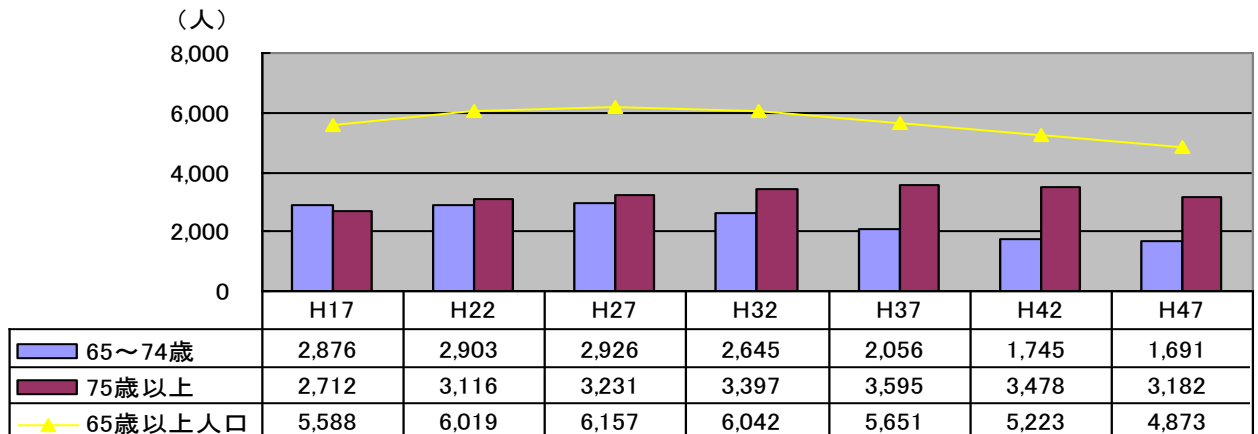


	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
65歳以上	30.7	33.9	39.5	42.5	43.8	44.8	46.6
15～64歳	57.5	55.3	51.0	49.0	48.1	47.2	45.6
0～14歳	11.7	10.8	9.5	8.6	8.2	7.9	7.8

四捨五入の関係で総数に合わないことがある

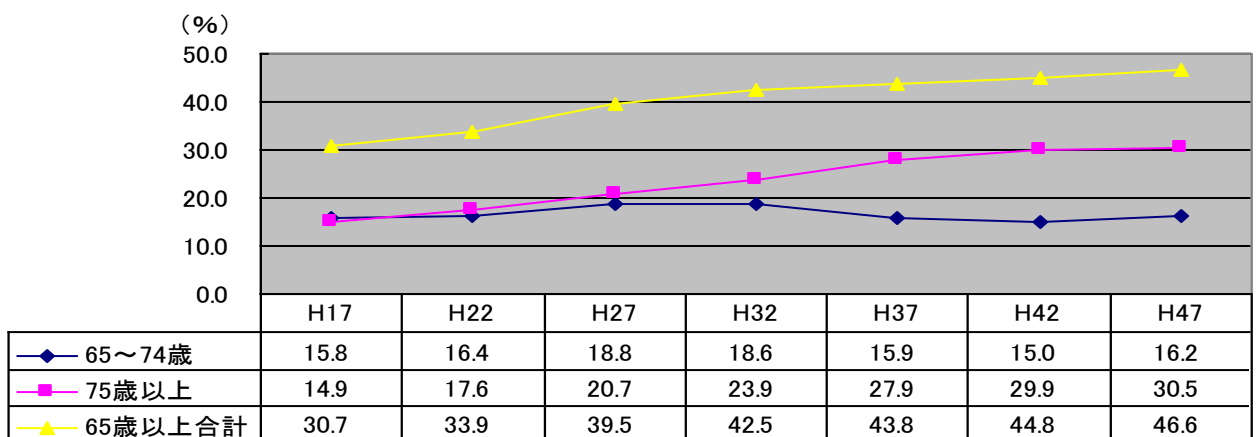
平成 17 年：国勢調査、平成 22 年：住民基本台帳人口（4 月 1 日現在）、
平成 27 年以降：日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）

那智勝浦町の高齢者人口の将来推計



四捨五入の関係で総数に合わないことがある
 平成 17 年：国勢調査、平成 22 年：住民基本台帳人口（4 月 1 日現在）、
 平成 27 年以降：日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）

那智勝浦町の高齢化率の将来推計



四捨五入の関係で総数に合わないことがある
 平成 17 年：国勢調査、平成 22 年：住民基本台帳人口（4 月 1 日現在）、
 平成 27 年以降：日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）

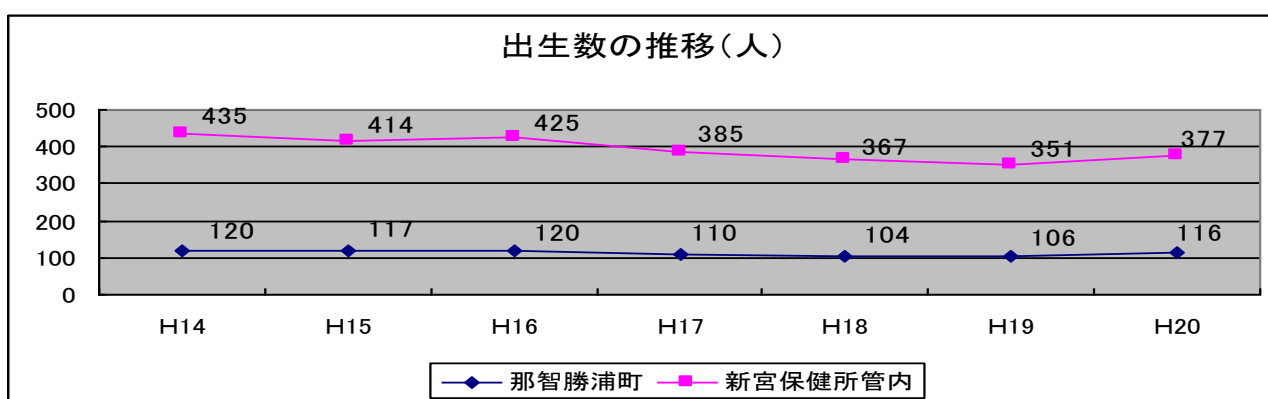
3) 人口動態等

(1) 出生・死亡数の推移

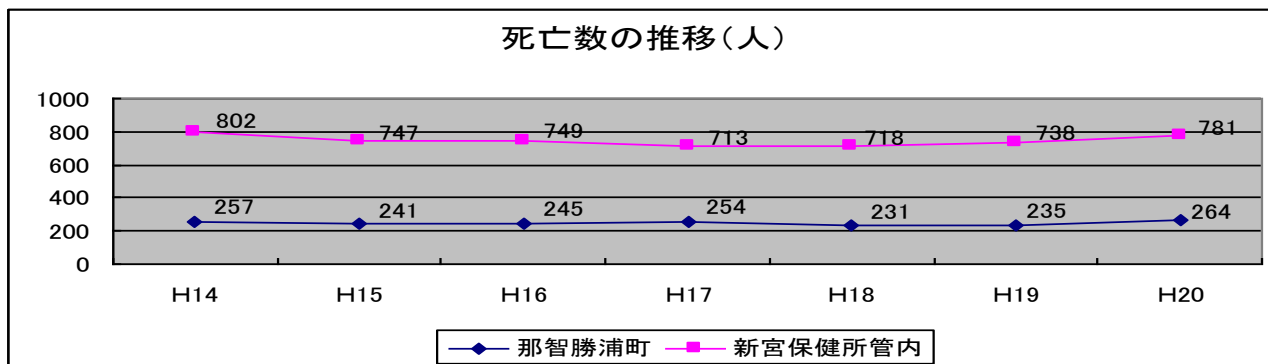
那智勝浦町の出生数を見ると、和歌山県人口動態統計の概況では、平成 20 年は 116 人になっています。経年変化では、新宮保健所管内では平成 17 年以降は 300 人台に減少し、太地町では平成 20 年は 9 人と平成 14 年以降で一番低い数値となっている点が見られます。

同様に、和歌山県人口動態統計の概況から那智勝浦町の死亡数を見ると、平成 20 年は 264 人と平成 14 年以降で一番高い数値となっています。新宮保健所管内では、平成 17 年以降増加で推移しています。

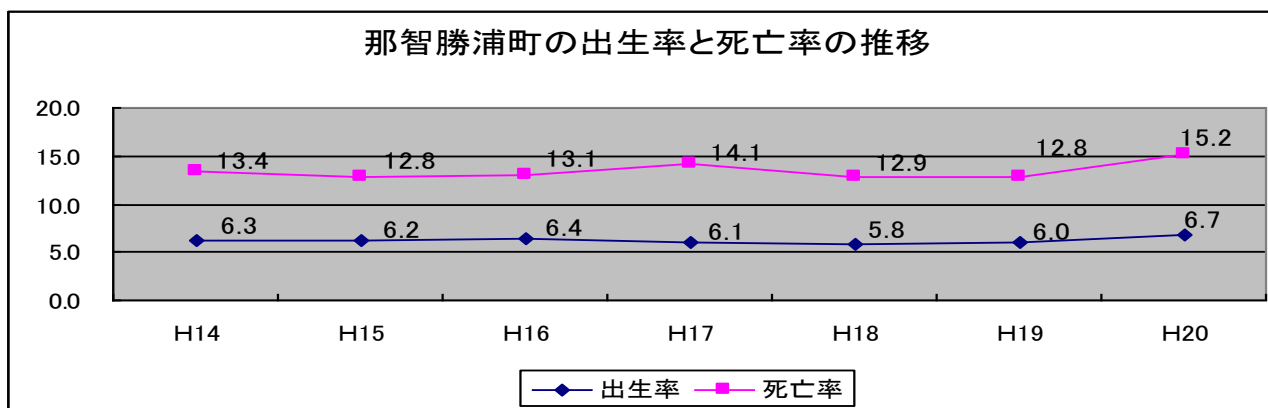
また、那智勝浦町の平成 20 年の出生率は 6.7、死亡率は 15.2 となっています。平成 20 年の和歌山県の出生率が 7.8、死亡率が 11.6 となっており、比較すると出生率が 1.1 ポイント下回り、死亡率が 3.6 ポイント上回っています。



和歌山県人口動態統計の概況



和歌山県人口動態統計の概況



和歌山県人口動態統計の概況

出生数・出生率の推移

		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
出生数	那智勝浦町	120	117	120	110	104	106	116
	新宮保健所管内	435	414	425	385	367	351	377
出生率	那智勝浦町	6.3	6.2	6.4	6.1	5.8	6.0	6.7
	新宮保健所管内	7.0	6.8	7.0	6.9	6.6	6.5	7.0
	和歌山県	8.5	8.1	7.8	7.6	7.8	7.6	7.8
	全国	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6	8.7

出生率は人口千人対
和歌山県人口動態統計の概況

死亡数・死亡率の推移

		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
死亡数	那智勝浦町	257	241	245	254	231	235	264
	新宮保健所管内	802	747	749	713	718	738	781
死亡率	那智勝浦町	13.4	12.8	13.1	14.1	12.9	12.8	15.2
	新宮保健所管内	13.0	12.2	12.4	12.8	13.0	13.6	14.6
	和歌山県	9.6	9.9	10.1	10.9	10.8	11.1	11.6
	全国	7.8	8.0	8.2	8.6	8.6	8.8	9.1

死亡率は人口千人対
和歌山県人口動態統計の概況

(2) 主要死因別死亡者数

那智勝浦町の平成 20 年における主要死因別死亡数の上位 5 位は、和歌山県人口動態統計の概況によると、第 1 位が悪性新生物で 71 人、第 2 位が心疾患で 47 人、第 3 位が肺炎で 28 人、第 4 位が脳血管疾患で 22 人、第 5 位が老衰で 11 人となっています。死亡率を全国や和歌山県等と比較してみると、那智勝浦町の特徴として、まず悪性新生物が高い率であることが目立ちます。併せて、心疾患、肺炎、老衰も高率となっており、高齢者が多いこととの関連性を読み取ることができます。また、新宮保健所管内の動向は那智勝浦町と類似している特徴も見られます。

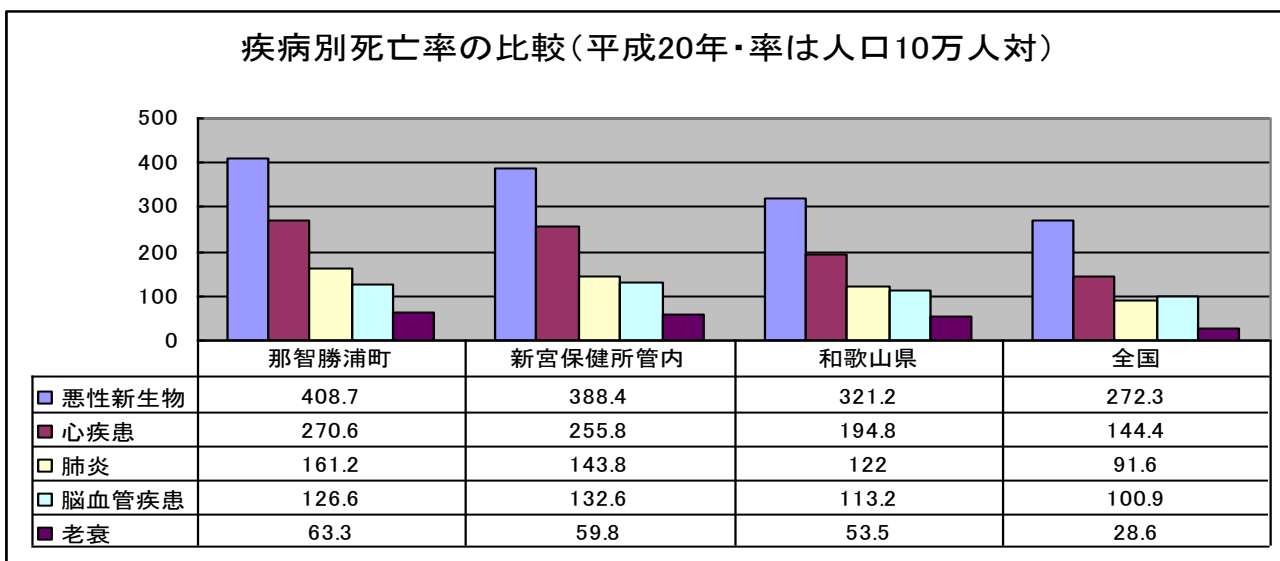
那智勝浦町近辺の死因の特徴である悪性新生物を部位別に見ると、気管・肺、胃、子宮、結腸が、全国や和歌山県よりもかなり高い死亡率であることが認識できます。和歌山県と比較すると、気管・肺は 30.0 ポイント、胃は 23.7 ポイント、子宮は 35.9 ポイント、結腸は 14.6 ポイント上回っています。子宮については、和歌山県は全国を下回る死亡率でありながら、那智勝浦町、新宮保健所管内共に和歌山県の数値を大きく上回っています。

選択死因別死亡数・死亡率（平成20年）

	死 亡 数		死亡率（人口10万人対）			
	那智勝浦町	新宮保健所管内	那智勝浦町	新宮保健所管内	和歌山県	全 国
結核	—	—	—	—	2.8	1.8
悪性新生物	71	208	408.7	388.4	321.2	272.3
糖尿病	2	4	11.5	7.5	13.0	11.5
高血圧性疾患	—	1	—	1.9	5.1	5.0
心疾患	47	137	270.6	255.8	194.8	144.4
脳血管疾患	22	71	126.6	132.6	113.2	100.9
大動脈瘤及び解離	2	10	11.5	18.7	12.0	10.7
肺炎	28	77	161.2	143.8	122.0	91.6
慢性閉塞性肺疾患	4	11	23.0	20.5	20.1	12.3
喘息	1	2	5.8	3.7	2.5	1.9
肝疾患	4	11	23.0	20.5	16.5	12.9
腎不全	4	19	23.0	35.5	26.8	17.9
老衰	11	32	63.3	59.8	53.5	28.6
不慮の事故	10	27	57.6	50.4	40.3	30.3
自殺	3	15	17.3	28.0	29.1	24.0
その他の死因	55	156	316.6	291.3	186.9	141.2
全死因（合計）	264	781	1,519.7	1,458.4	1,159.8	907.1

和歌山県人口動態統計の概況

疾病別死亡率の比較（平成20年・率は人口10万人対）

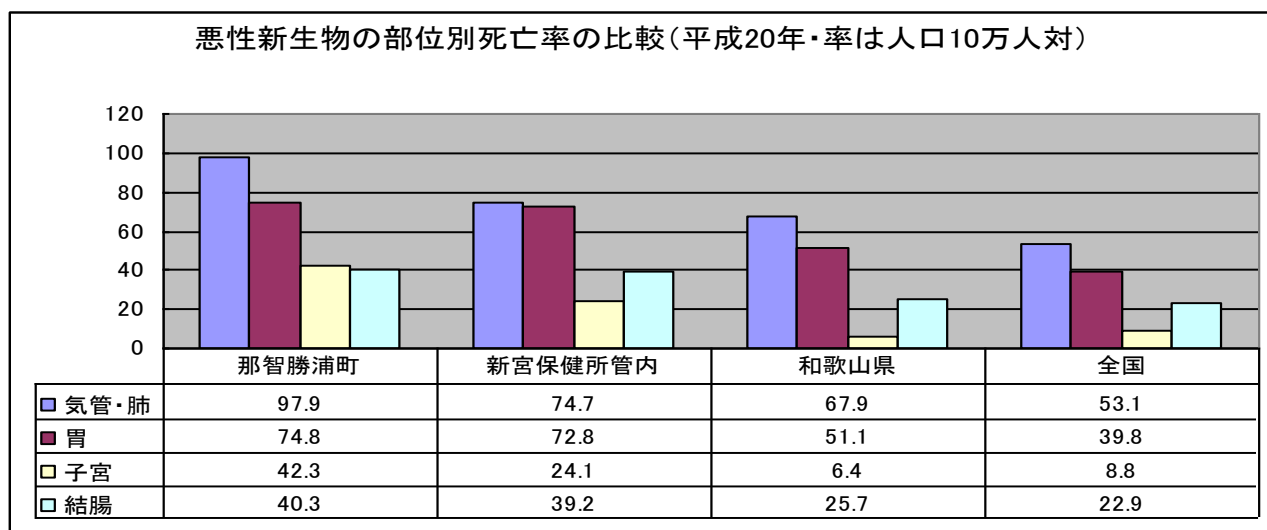


和歌山県人口動態統計の概況

悪性新生物の部位別死亡数・死亡率（平成 20 年）

	死 亡 数		死亡率（人口 10 万人対）			
	那智勝浦町	新宮保健所管内	那智勝浦町	新宮保健所管内	和歌山県	全 国
食道	2	6	11.5	11.2	8.7	9.3
胃	13	39	74.8	72.8	51.1	39.8
結腸	7	21	40.3	39.2	25.7	22.9
直腸等	1	8	5.8	14.9	12.7	11.3
肝臓等	4	17	23.0	31.7	35.9	26.7
胆のう等	2	8	11.5	14.9	12.9	13.7
膵臓	4	13	23.0	24.3	26.4	20.6
気管・肺	17	40	97.9	74.7	67.9	53.1
乳房	2	3	21.1	10.3	17.4	18.3
子宮	4	7	42.3	24.1	6.4	8.8
白血病	1	5	5.8	9.3	7.1	6.1
その他	14	41	80.6	76.6	59.9	54.8
（再掲）大腸	8	29	46.1	54.2	38.4	34.2
総 数	71	208	408.7	388.4	321.2	272.3

和歌山県人口動態統計の概況



和歌山県人口動態統計の概況

（3）疾病の状況

和歌山県の年齢別・傷病大分類別入院受療率を見ると、平成 20 年患者調査では、第 1 位が「精神及び行動の障害」で 242、第 2 位が「循環器系の疾患」で 225、第 3 位が「新生物」で 144 という順番になっています。上位の疾病を年齢別に見ると、「精神及び行動の障害」では 65～74 歳、「循環器系の疾患」では 75 歳以上、「新生物」では 75 歳以上がそれぞれ高くなっています。

同様に外来受療率では、第 1 位が「消化器系の疾患」で 1,003、第 2 位が「循環器系の疾患」で 943、第 3 位が「筋骨格系・結合組織の疾患」で 839 になっています。疾病別では、「消化器系の疾患」は 45～54 歳、「循環器系の疾患」は 75 歳以上、「筋骨格系・結合組織の疾患」では 75 歳以上の年齢層が高くなっています。

全体を見ると、入院・外来共に 75 歳以上と 65～74 歳以上の受療率が高いことが目立ち、加齢に伴う受療率の上昇を認識することができます。

和歌山県年齢別・傷病大分類別入院受療率（平成 20 年・人口 10 万人対）

	0～4 歳	5～ 14 歳	15～ 24 歳	25～ 34 歳	35～ 44 歳	45～ 54 歳	55～ 64 歳	65～ 74 歳	75 歳 以上	総数
I 感染症	5	—	8	2	1	12	18	36	76	20
（結核）	0	—	—	2	—	6	8	7	18	6
（上記以外）	5	—	8	—	1	6	10	29	58	14
II 新生物	—	2	17	22	37	84	159	314	458	144
（悪性新生物）	—	—	14	17	21	76	133	286	414	127
（上記以外）	—	2	3	5	16	8	26	28	44	17
III 血液、免疫機構障害	—	—	—	—	1	2	10	6	25	6
IV 内分泌、代謝疾患	—	—	2	8	7	19	36	56	168	39
（糖尿病）	—	—	—	5	3	17	27	48	113	28
（上記以外）	—	—	2	3	4	2	9	8	55	11
V 精神及び行動の障害	5	5	21	67	141	276	454	496	352	242
VI 神経系の疾患	—	12	18	48	64	67	73	78	291	84
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	5	1	13	22	54	13
VIII 耳・乳様突起の疾患	—	3	—	2	—	4	1	7	9	3
IX 循環器系の疾患	8	—	3	8	11	54	151	271	1,201	225
（高血圧性疾患）	—	—	—	—	2	2	3	3	37	6
（心疾患：高血圧を除く）	8	—	3	6	7	10	38	54	284	53
（脳血管疾患）	—	—	—	2	3	41	89	192	825	152
（上記以外）	—	—	—	—	—	1	21	23	55	14
X 呼吸器系の疾患	43	12	6	4	14	1	27	74	452	79
XI 消化器系の疾患	—	4	7	2	32	29	58	90	254	63
（う蝕・歯周疾患・その他 歯）	—	2	2	—	—	—	1	—	—	1
（上記以外）	—	2	5	2	32	29	57	90	254	62
XII 皮膚及び皮下組織の疾 患	—	—	2	—	3	1	9	10	61	11
XIII 筋骨格系・結合組織の疾 患	8	—	2	13	12	41	49	140	320	76
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	5	—	5	13	21	23	25	91	175	46
（糸球体疾患・腎不全等）	5	—	2	5	5	18	24	71	143	36
（上記以外）	—	—	3	8	16	5	1	20	32	10
XV 妊娠、分娩及び産じょ く	—	—	13	67	19	—	—	—	—	11
XVI 周産期に発生した病態	161	—	—	—	—	—	—	—	—	6
XVII 先天奇形・変形・染色体異 常	19	2	2	7	6	1	2	—	1	3
XVIII 症状微候、分類不能	14	2	2	5	—	7	9	28	110	22
XIX 損傷、中毒	—	8	29	55	32	56	78	164	572	129
XX I 健康状態に影響	5	—	3	5	—	4	7	6	24	6
（正常分娩・産じょく管 理）	—	—	—	5	—	—	—	—	—	1
（歯の補てん）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
（その他の保健サービス）	5	—	3	—	—	4	7	6	24	5
合 計	273	51	139	328	408	682	1,180	1,888	4,602	1,229

平成 20 年患者調査（平成 20 年 10 月）

和歌山県年齢別・傷病大分類別外来受療率（平成20年・人口10万人対）

	0～4 歳	5～ 14歳	15～ 24歳	25～ 34歳	35～ 44歳	45～ 54歳	55～ 64歳	65～ 74歳	75歳 以上	総数
I 感染症	329	75	35	84	86	150	155	368	336	178
（結核）	—	—	—	—	—	—	—	2	7	1
（上記以外）	329	75	35	84	86	150	155	366	329	177
II 新生物	22	8	10	39	104	157	232	460	421	190
（悪性新生物）	15	3	—	10	45	81	171	380	367	141
（上記以外）	7	4	10	30	58	76	61	80	54	48
III 血液、免疫機構障害	21	7	—	—	29	26	9	18	19	15
IV 内分泌、代謝疾患	14	15	19	70	167	336	590	922	681	374
（糖尿病）	—	—	8	13	57	160	292	566	407	201
（上記以外）	14	16	11	57	109	176	298	355	274	173
V 精神及び行動の障害	22	29	72	162	221	139	162	207	306	165
VI 神経系の疾患	44	20	37	62	96	116	132	268	437	154
VII 眼及び附属器の疾患	85	201	150	176	108	194	172	671	859	323
VIII 耳・乳様突起の疾患	249	47	14	20	22	48	48	69	93	55
IX 循環器系の疾患	42	20	6	38	120	433	944	1,906	3,583	943
（高血圧性疾患）	—	—	—	16	69	315	699	1,232	2,333	626
（心疾患：高血圧を除く）	42	11	—	5	27	47	98	309	563	143
（脳血管疾患）	—	—	2	2	7	26	121	316	603	143
（上記以外）	—	9	4	16	17	45	25	48	84	32
X 呼吸器系の疾患	2,615	904	280	285	320	199	235	309	591	462
XI 消化器系の疾患	632	468	416	821	1,089	1,329	1,159	1,300	1,202	1,003
（う蝕・歯周疾患・その他歯）	424	448	358	743	951	1,055	886	780	557	734
（上記以外）	208	20	58	77	138	275	273	521	643	269
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	237	149	119	136	107	126	145	161	246	154
XIII 筋骨格系・結合組織の疾患	15	35	68	104	280	523	693	1,886	2,773	839
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	7	47	34	113	192	191	317	417	404	225
（糸球体疾患・腎不全等）	7	29	3	4	17	84	221	278	211	114
（上記以外）	—	18	31	109	175	107	96	139	194	111
XV 妊娠、分娩及び産じょく	—	—	29	31	12	—	—	—	—	8
XVI 周産期に発生した病態	84	—	—	—	—	—	—	—	—	3
XVII 先天奇形・変形・染色体異常	55	18	3	8	4	6	2	7	5	8
XVIII 症状微候、分類不能	68	99	18	64	60	75	98	135	222	99
XIX 損傷、中毒	386	337	265	268	336	340	432	494	492	382
XX I 健康状態に影響	512	243	137	355	192	285	508	615	529	383
（正常分娩・産じょく管理）	—	—	29	84	20	13	—	—	—	16
（歯の補てん）	—	22	21	98	81	182	454	517	348	232
（その他の保健サービス）	512	221	88	173	91	89	54	97	181	136
合計	5,437	2,723	1,713	2,836	3,544	4,672	6,033	10,212	13,199	5,961

平成20年患者調査（平成20年10月）